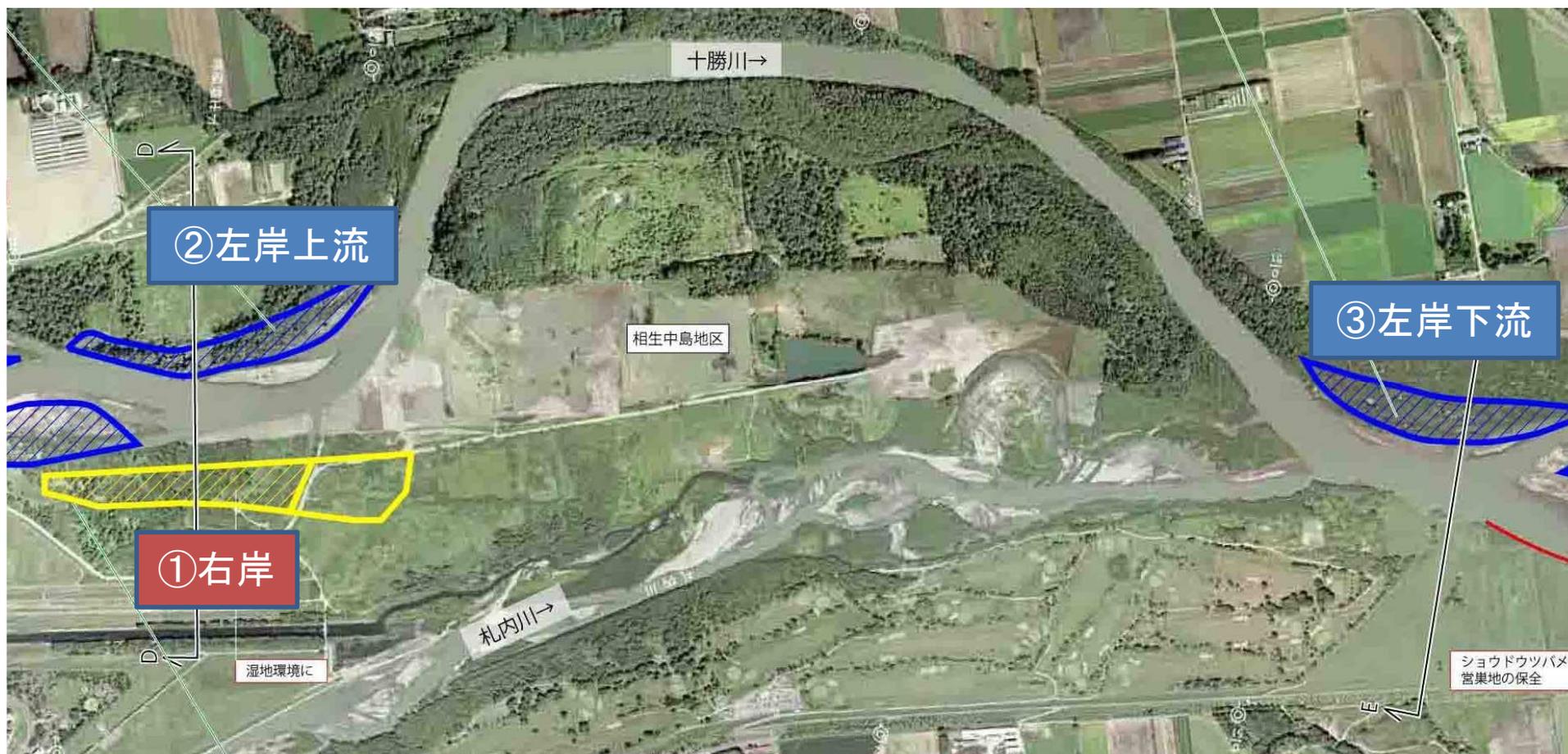


H24年工事 工事実施状況



3工事にて河道掘削を施工中。
トータル掘削量 $V=216,000\text{m}^3$ 高規格道路工事と連携
①右岸について写真にて説明



① (下流側より撮影) 右岸状況
予定掘削量 85000m³程度
延長L= 500m
掘削幅 W=70m程度



①（下流側より撮影） 右岸状況



- ① (下流側より撮影) 右岸状況
予定掘削量 85000m³程度
延長L= 500m
掘削幅 W=70m程度



①（下流側より撮影） 右岸状況



3工事にて河道掘削を施工中。
トータル掘削量 $V=216,000\text{m}^3$ 高規格道路工事と連携
②左岸上流を写真にて説明



② (下流側撮影) 左岸状況
予定掘削量 44000m³程度
延長L= 550m
掘削幅 W=60m程度



②（下流側撮影） 左岸状況



② (下流側撮影) 左岸状況
予定掘削量 44000m³程度
延長L= 550m
掘削幅 W=60m程度



②（下流側撮影） 左岸状況



3工事にて河道掘削を施工中。
トータル掘削量 $V=216,000\text{m}^3$ 高規格道路工事と連携
③左岸下流を写真にて説明

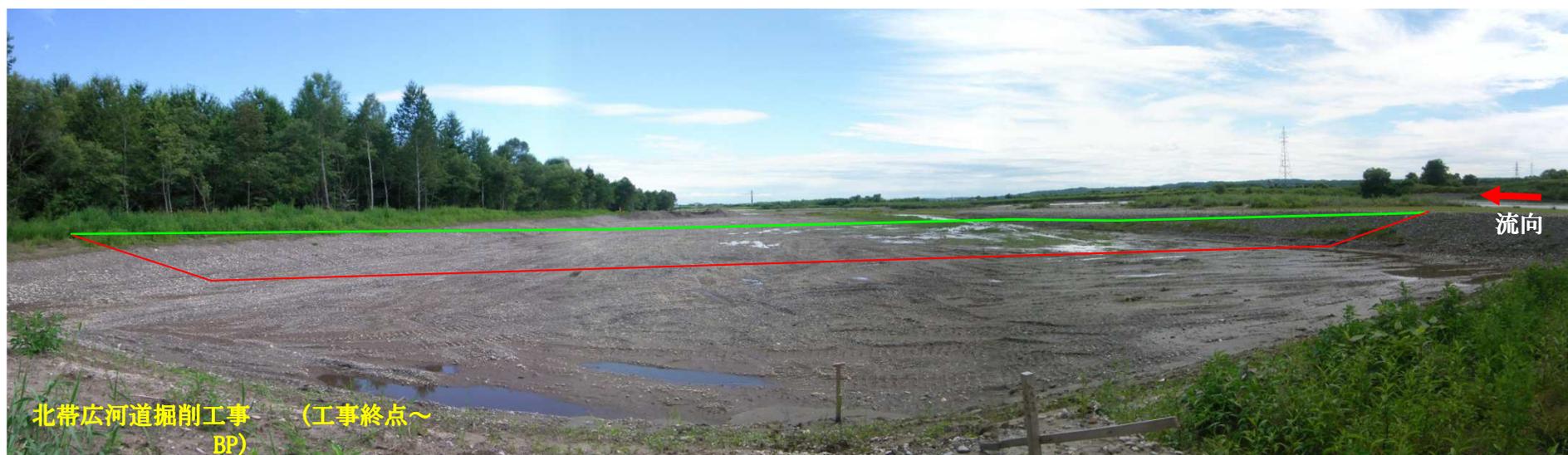


③(下流側撮影) 右岸状況
予定掘削量 87000m³程度
延長L=1150m
掘削幅W=80m程度



③(下流側撮影)

右岸状況



③(下流側撮影) 右岸状況
予定掘削量 87000m³程度
延長L=1150m
掘削幅W=80m程度



③(下流側撮影)

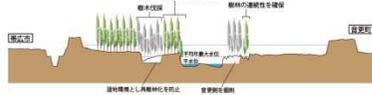
右岸状況

樹林再生地区について

右岸平面図

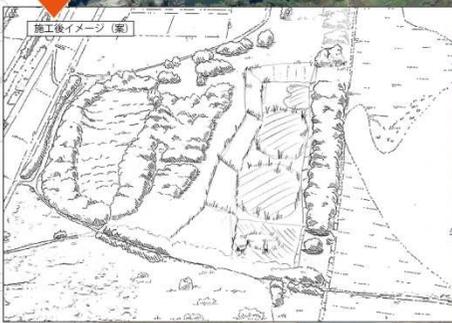
0m 50m 100m 200m

十勝川中流部川づくりWSでの合意事項



合意事項

- ・右岸の河岸側の樹林を幅50mで保全し、その背後地の樹林を伐採。
- ・再樹林化を防止するために、掘削して湿地環境を形成する。



※右岸側の勾配を5割
左岸側の勾配を2割で掘削

樹林化予定箇所
幅10m、延長100m程度で施工

凡例

- 湿地設置提案箇所
- 現在の掘削箇所
- 擦付部

湿地環境形成箇所の事務局案についての追加・変更点など

- ・最上流の湿地の水深を3mとした。(第4回事務局会議の中で、3m程度の水深があることで、魚類などの越冬の可能性や多様な魚類の生息が期待できるとの意見あり)
- ・魚類や底生動物の生息を促すため、湿地の河床に流木の設置を検討する。
- ・先に上流側の湿地を掘削し、水面が確保できるか確認する。
- ・池と池の間の陸上部分は、水生植物の移行帯となるよう整備を検討する。
- ・下流側湿地の中島の設置は、同湿地の掘削した土砂を利用することを検討する。

0
54